

## 昭和 52 年度事務および事業報告

昭和 52 年 4 月から 53 年 3 月に至る間に行なった事務および事業の概要は次のとおりである。

### 1. 会 員

名誉員・正員・准員・学生員・  
賛助員の異動

	名 誉 員	正 員	准 員	学 生 員	賛 助 員	合 計
入 会	—	+622	+285	+437	—	+1,344
正員→ 名誉員	+1	-1	—	—	—	0
正員→ 准 員	—	-10	+10	—	—	0
正員→ 学生員	—	0	—	0	—	0
准員→ 正 員	—	+620	-620	—	—	0
准員→ 学生員	—	—	-18	+18	—	0
学生員→ 正員	—	0	—	0	—	0
学生員→ 准員	—	—	+317	-317	—	0
退 会	0	-702	-36	-5	0	-743
死 亡	-6	-47	0	0	-1	-54
除 名	0	0	0	0	0	0
復 活	—	+21	+1	0	—	+22
差 引	-5	+503	-61	+133	-1	+569

### 事業維持員の異動

	社数	口数		社数	口数
入 会	43	125	口数減少	3	4
退 会	10	14	期末現在	523	3,204
口数増加	85	549			

### 期末会員数

	52年3月末	53年3月末	増 減
名 誉 員	34	29	-5
正 員	17,797	18,300	+503
准 員	1,264	1,203	-61
学 生 員	581	714	+133
賛 助 員	1	0	-1
事業維持員	490	523	+33
合 計	20,167	20,769	+602

### 期末支部別会員数

	名 誉 員	正 員	准 員	学 生 員	賛 助 員	合 計
東京支部	27	9,840	353	215	0	10,435
関西 "	0	3,286	203	130	0	3,619
九州 "	0	1,023	111	37	0	1,171
東北 "	0	630	94	20	0	744
東海 "	2	1,673	197	191	0	2,063
中国 "	0	720	69	18	0	807
北海道 "	0	388	84	32	0	504

北陸 "	0	386	52	53	0	491
四国 "	0	354	40	18	0	412
合 計	29	18,300	1,203	714	0	20,246

備考 東京支部会員数のうち次城支所所属会員は正員 1,200 名、准員 22 名、学生員 8 名である。

### 2. 会合数

本期間における諸会合数は 1,321 回で、前期 1,287 回に比べ 34 回を増加した。

通常総会	1 回
評議員会	4 回
理事会(準備会合)	17 回
支部長会議	1 回
編修企画委員会	3 回
〃 幹事会	9 回
〃 分科会	2 回
論文委員会	12 回
ニュース委員会	12 回
学界時報委員会	12 回
編修幹事引継会	1 回
広告改善委員会	4 回
電気工学ハンドブック 委員会	6 回
事業維持委員会	1 回
常置連合大会企画委員会	6 回
電気学会全国大会委員会	3 回
功績者選定委員会	4 回
桜井資金選考委員会	1 回
元会長・副会長会	1 回
文部省科学研究費等審査 会	1 回
第11期日本学術会議会員 候補者推薦委員会	2 回
電気規格調査会	265 回
調査研究委員会	683 回
各種研究会	130 回
電食防止研究委員会	23 回
誘導調査特別委員会	8 回
日本 CIGRE 国内委員会	51 回
電気加熱技術協会	18 回

通信教育会	38 回
電気・電子通信学会役員 懇談会	2 回
合 計	1,321 回

### 3. 規程の改正

功績者選定委員会規程ならびに細則を12月に改訂した。

### 4. 功績者の表彰

52年5月28日第65回通常総会において、次の諸君に賞状、賞牌および賞金を贈呈した。

電気学会功績賞	和田昌博君
電力賞(福田節雄賞付)	飯塚喜八郎君
同 (福田節雄賞付)	尾崎勇造君
電気学術振興賞	
進歩賞(福田節雄賞付)	松村 晋君・高橋正樹君
	富永正太郎君
	同 上之蘭博君・堀内長之君
	山本俊伸君
	同 権藤豊美君・岩下二男君
	滝田義介君・渡辺徳行君
	同 坂本雄吉君・堀江 宏君
	三須田善郎君
	同 高松輝明君・植木亮介君
	岡本 順君・石田哲爾君
	同 福西平典君・田村昌興君
	永井信夫君
論文賞(福田節雄賞付)	海保勝之君
	同 高井吉明君・大沢利文君
	水谷照吉君・家田正之君
	同 井上 昌君・大野 豊君
	同 加藤正平君・河野照哉君
	丸山義雄君・菊地幸司君
	同 長尾待士君
	同 成田賢仁君・山口俊尚君

千田 功君  
著作賞 (福田節雄賞付)  
岸 敬二君

### 5. 桜井資金による海外派遣者

昭和52年度中に開催された電力関係国際会議に、桜井資金により派遣された出席者は次のとおりである。

塚本修己君 (横浜国大) 低温技術会議および国際低温材料会議  
野口卓也君 (電総研) 電子絶縁および誘電体現象会議

### 6. 大会

52年度本会全国大会は、7月29日から4日間にわたって北海道大学に開催され、52年連合大会は10月11日から3日間にわたり、日本工学院専門学校で行なわれた。各支部においては、9月から11月にかけて、それぞれ支部大会を開催した。発表された講演数は次の表のとおりで、これらへの参加者数は延10,000名以上に達している。

	51年度	52年度	増減
全国大会 <sup>(1)</sup>	1,274	1,718	+444
連合大会 <sup>(2)</sup>	340	272	-68
東京支部大会	—	297	+297
関西 "	379	363	-16
九州 "	282	327	+45
東北 "	286	266	-20
東海 "	338	363	+25
中国 "	170	163	-7
北海道 "	219	219	0
北陸 "	146	128	-18
四国 "	123	121	-2
合計	3,557	4,237	+680

- (1) 全国大会では、以上のほか、特別講演2件、シンポジウム講演13課題があった。
- (2) 連合大会はシンポジウム、パネル討論等46課題を行った。
- (3) 支部は全国大会に準じた方式で電気関係学会各支部と共催した。

### 7. 講演会・講習会・見学会

本期間には、163回を開催し、昨年の154回に比べ9回増加した。参加者は10,000人以上であった。

	講演会	講習会	見学会	合計
本部	—	—	—	0
東京支部	12	1	4	17
茨城支部	2	—	2	4
新潟地区	2	—	—	2
関西支部	25	4	5	34
九州 "	8	—	—	8
東北 "	26	—	—	26
東海 "	18	2	2	22
中国 "	14	1	—	15
北海道 "	13	1	2	16
北陸 "	9	1	1	11
四国 "	7	—	1	8
合計	136	10	17	163

注：関西支部には、准員および学生員のための定期講演会15回、東北支部には、地方講演会6回、東海支部には教育工学シンポジウム5回を含む。

### 8. 雑誌・論文誌

本期間中における雑誌と論文誌を次のごとく発行した。

雑誌の総ページ数は2,039ページで前期より41ページの増となった。論文誌の総ページ数は2,108ページで、そのうち論文は1,856ページとなり、前期より350ページ増となった。

英文論文誌 (TIEE of Japan) は、4冊発行(1/2号~7/8号)し、総ページ数は96ページとなった。

#### 雑誌

巻・号	年・月	発行年月日	本文ページ数	広告ページ数
97・4	52・4	52・5・6	107	31
5	5	5・31	162	50
6	6	6・29	110	34
7	7	8・1	146.5	41.5
8	8	8・30	138	40
9	9	9・29	116.5	51.5
10	10	10・31	127.5	34.5
11	11	12・1	153	53
12	12	12・26	153	30
98・1	53・1	53・2・2	116.5	39.5
2	2	3・3	109.5	40.5
3	3	3・31	109	45
合計			1,548.5	490.5

### 論文誌

巻・分冊	年・月	発行年月日	本文ページ数	広告ページ数
97・A・4	52・4	52・5・6	53	1
B・4	"	"	68	1
C・4	"	"	23	2
97・A・5	52・5	52・6・1	52	1
B・5	"	"	79	1
C・5	"	"	24	2
97・A・6	52・6	52・6・29	50	1
B・6	"	"	59	2
C・6	"	"	24	2
97・A・7	52・7	52・8・1	51	1
B・7	"	"	66	1
C・7	"	"	24	1
97・A・8	52・8	52・8・30	48	1
B・8	"	"	68	2
C・8	"	"	22	2
97・A・9	52・9	52・9・29	53	1
B・9	"	"	53	1
C・9	"	"	21	1
97・A・10	52・10	52・10・31	56	1
B・10	"	"	69	2
C・10	"	"	19	2
97・A・11	52・11	52・12・1	51	1
B・11	"	"	73	1
C・11	"	"	29	1
97・A・12	52・12	52・12・26	49	1
B・12	"	"	77	2
C・12	"	"	19	2
98・A・1	53・1	53・2・2	54	1
B・1	"	"	100	1
C・1	"	"	32	2
98・A・2	53・2	53・3・3	60	1
B・2	"	"	93	1
C・2	"	"	37	2
98・A・3	53・3	53・3・31	55	1
B・3	"	"	109	1
C・3	"	"	36	1
合計			1,856	48

#### 雑誌の内容とページ数

内 容	前 期	本 期
随想・論説(巻頭含む)	19	19
講演技術総集	27	40
特許解説	0	7
小特集	164	161
解題	219	189
ミニ解説	122	103
ミニ解説	26	61
討議会・座談会	13	19
技術レポート	2	18
特許解説	0	0
学生欄	9	20
学 界 時 報	236	245
ニ ュ ー ス	39	39
本会・調査委員会記事	117	123
論 文 概 要	72	86
著 者 紹 介	64	30
目 次・会 告	254	301
巻 目 次	29	32
その他(表紙10を含む)	50	55.5
小 計	1,462	1,548.5

広 告	536	490.5
合 計	1,998	2,039

論文誌の内容とページ数

内容 分冊	論文		その他(表紙, 広告, 著者紹介)
	論文	研究開発 ノート	
A	628	4	86
B	906	8	96
C	305	5	70
計	1,839	17	252

英文論文誌の内容

内容	Paper		その他(表紙, 目次)
	Paper	Abstract	
ページ数	5	67	24

9. Electrical Engineering in Japan

本会論文英訳誌 (Electrical Engineering in Japan, アメリカ Scripta Publishing Co. 出版) は、本期間中7冊 (Vol. 96, No. 1, 1976~Vol. 97, No. 1, 1977) 発行された。

10. 技術報告

本期間には次の15冊を発行した。

部	号	件	ページ	発行年月
I	117	2	44	52-4
	118	2	59	52-4
	119	2	51	52-4
	120	2	44	52-5
	121	2	45	52-7
	122	3	34	52-10
II	56	1	87	52-6
	57	1	42	52-7
	58	1	73	52-7
	59	1	58	52-7
	60	1	45	52-8
	61	1	49	52-8
	62	1	40	52-10
	63	1	96	53-2
64	1	74	53-3	

I 部

117号 高電圧及び低圧 (400V系) 地絡保護方式に関する実態調査; 電気機器の耐震性と対策に関する調査; 電気機器の寿命に関するアンケート調査報告

118号 SF<sub>6</sub> ガス中における絶縁

破壊—準平等電界における破壊特性—; 短時間耐熱性試験予備試験結果その1—温度標準物質を用いた使用熱分析装置の検定—

119号 巻鉄心とその応用上の諸問題; IC化アナログ電圧比較回路

120号 誘導電動機の負荷時の騒音について; 避雷器の動作責務に関する最近の諸問題

121号 短時間耐熱性試験法予備試験結果その2—ワニス塗膜の熱分析—; 線形システム理論教育の現状とそのあり方

122号 同期電動機始動特性試験要綱; 水車発電(電動)機基礎の設計法; 変圧器の三次(安定)巻線について

II 部

56号 EHD 調査専門委員会報告

57号 ジョゼフソン効果とその応用

58号 同期機の超電導化について

59号 回路部品の高信頼化技術  
60号 電力貯蔵用二次電池—その可能性と開発状況—

61号 水力発電所の設備障害とその分析

62号 応用分野からみたメモリ

63号 世界の直流送電設備と運転実績の調査

64号 配電線における波形ひずみの研究

11. 出版

電気規格調査会標準規格 (JEC) JEC-74 (1976) イ号アルミ合金電線

JEC-130 (1976) アルミ電線

JEC-146 (1976) 回転電気機械一

般

JEC-166 (1976) 鋼心アルミより線用接続管

JEC-167 (1976) 硬アルミより線用接続管

JEC-197 (1976) 耐熱アルミ合金電線

JEC-198 (1976) 鋼心イ号アルミ合金より線用接続管

JEC-199 (1976) 鋼心耐熱アルミ合金より線用接続管

新刊発行 (2点)

新版 電食・土壌腐食ハンドブック (5月)

直流送電技術解説 (3月)

電気工学ハンドブックは出版作業中であるが、印刷部数12,000部を確定した。

12. 図書室

本期間中の図書室 (東京理科大学付属図書館野田分館) の利用状況は次のとおりである。

	前 期	本 期
閲 覧 者 数	35 名	16 名
複写申込者数	132 名	214 名
複写申込件数	526 件	360 件
複 写 枚 数	2,404 枚	1,898 枚

13. 電気規格調査会

1. JEC の制定および改訂

(改訂)

JEC-149 固体絶縁材料の乾燥時における商用周波の高電圧小電流耐アーク性試験方法通則 (53-1) ……1960年版の改訂

JEC-178 半導体整流変換装置 (その2) (52-5) ……1969年版の改訂

JEC-188 サイリスタ変換装置 (52-5) ……1973年版の改訂

JEC-190 計器用変成器 (保護継

電器用)(52-5).....1974  
年版の改訂

JEC-200 静止誘導機器インパルス電圧試験(52-9).....  
JEC-176(1968)の改訂

JEC-201 電力ヒューズ(52-7).....  
JEC-175(1968)の改訂

2. 調査を終了した項目

(電気用語標準特別委員会)

1. 学術用語集電気工学編本文  
(改訂案)

2. 専門用語集「放射線」(改訂案)

(静止誘導機器標準特別委員会)

1. JEC-168 「変圧器」(改訂案)

(避雷器標準特別委員会)

1. JEC-156 「避雷器」(改訂案)

(保護継電器標準特別委員会)

1. JEC-174 「電力用保護継電器」(改訂案)

(しゃ断器標準特別委員会)

1. JEC-160 「気中しゃ断器」  
(改訂案)

(変換装置標準特別委員会)

1. JEC-202 「自励式半導体電力変換装置」(制定案)

(絶縁試験法標準特別委員会)

1. JEC-170 「交流電圧絶縁試験一般」(改訂案)

2. JEC-176 「静止誘導機器インパルス電圧試験」(改訂案)

(絶縁材料耐アーク性試験方法標準特別委員会)

1. JEC-149 「固体絶縁材料の乾燥時における商用周波の高電圧小電流耐アーク性試験方法通則」(改訂案)

3. IEC 文書審議

本年度の審議状況は、次表のとおりである。

委員会名		CO 文書	S 文書
TC1	用語	8	5
TC2	回転機	3	12
SC2A	タービン発電機	—	1
SC2D	損失および効率	—	—
SC2G	同期機定数	—	—
TC3	図式シンボル	—	—
SC3A	ダイヤグラム用図記号	1	2
SC3B	ダイヤグラム, チャート, テーブル	1	1
SC3C	装置用図記号	—	3
TC4	水車	—	—
TC7	アルミニウム	—	—
TC8	標準電圧・周波数	—	1
TC9	輸送用電気設備	3	—
TC10	絶縁油	—	1
SC10A	鉱物系絶縁油	1	1
SC10B	合成絶縁油	1	5
SC10C	気体絶縁油	—	—
TC11	架空線路	1	3
TC13	計測器	—	—
SC13A	積算計器	—	1
SC13B	記録計器	3	7
TC14	変圧器	1	5
TC14B	負荷時タップ切替器	—	—
SC14C	リアクトル	—	—
SC14D	小形特殊電力変圧器	—	—
TC15	絶縁材料	—	—
SC15A	短時間試験	1	2
SC15B	耐久試験	4	3
SC15C	仕様	5	18
TC16	端子記号	2	5
TC17	スイッチギヤ	1	—
SC17A	高圧用スイッチギヤ	2	5
TC20	電力ケーブル	—	3
SC20A	高圧ケーブル	6	1
SC20B	低圧ケーブル	2	3
TC22	変換装置	—	1
SC22B	半導体変換装置	1	2
SC22D	電鉄用単相変換装置	1	1
SC22E	電子制御直流電源	1	—
SC22F	高圧直流送電用変換装置	—	1
TC25	量・単位および文字記号	—	1
TC27	電気加熱	2	3
TC28	絶縁協調	1	—
SC28A	低圧機器の絶縁協調	—	3
TC32	ヒューズ	—	1
SC32A	高圧ヒューズ	1	5
SC32B	低圧ヒューズ	3	2
SC32C	ミニアチュアヒューズ	1	2
TC33	電力用コンデンサ	—	3
TC36	がいし	—	1
SC36A	ブッシング	—	1
SC36B	架空線用がいし	1	1
SC36C	変電所用がいし	2	1

TC37	避雷器	1	4
TC38	計器用変圧器	7	3
TC41	保護継電器	1	5
SC41A	検出継電器	2	3
SC41B	補助継電器	2	5
TC42	高電圧試験	—	3
TC57	電力線搬送およびテレコン設備	—	1
TC58	高導電材料の測定方法	—	—
TC63	絶縁方式	1	4
TC66	電子測定装置	2	—
SC66A	ゼネレータ	—	—
SC66B	オシロスコープ	—	—
SC66C	ブリッジおよびメータ	—	—
TC68	磁性合金および磁性鋼	1	3
TC73	短絡電流とその熱的・機械的影響	—	3
TC77	電気機器(ネットワークを含む)間の電気磁気的相互交換性	—	4
TC78	活線作業用工具	—	1
計		77	156

4. 現在調査中の項目

(電気用語標準特別委員会)

1. 学術用語集電気工学編付録
2. 専門用語集「電気計測」
3. 専門用語集「高電圧試験法」
4. 専門用語集「絶縁材料」
5. 専門用語集「電力用開閉装置」
6. 専門用語集「交流可変速駆動」

(同期機標準特別委員会)

1. JEC-114 「同期機」(改訂案)

(誘導機標準特別委員会)

1. JEC-37 「誘導機」(改訂案)

(直流機標準特別委員会)

1. JEC-54 「直流機」(改訂案)

(静止誘導機器標準特別委員会)

1. JEC-182 「リアクトル」(改訂案)

(避雷器標準特別委員会)

1. ギャップレス避雷器の試験方法
2. 配電用避雷器の試験方法

(保護継電器標準特別委員会)

1. JEC-電力用補助継電器
2. JEC-電力用限時継電器

**(変換装置標準特別委員会)**

1. JEC-直流電動機駆動用サイリスタ変換装置

**(水車標準特別委員会)**

1. JEC-157「水車の効率試験方法」(改訂案)

**(がいし標準特別委員会)**

1. JEC-183「ブッシング」(改訂案)

**(電力用通信設備標準特別委員会)**

1. JEC-電力線搬送電話端局装置

**(絶縁試験法標準特別委員会)**

1. JEC-172「衝撃電圧電流測定法」(改訂案)
2. JEC-195「部分放電試験法」(制定案)

**(送電用鉄塔標準特別委員会)**

1. JEC-127「送電用鉄塔設計標準」(改訂案)
2. JEC-128「送電用鉄柱設計標準」(改訂案)

3. JEC-129「送電用コンクリート柱設計標準」(改訂案)

4. JEC-144「電力用無線通信鉄塔・鉄柱設計標準」(改訂案)

**(絶縁材料誘電正接および誘電率試験方法標準特別委員会)**

1. JEC-150「絶縁材料誘電正接および誘電率試験方法通則」(改訂案)

**(電鉄用機器標準特別委員会)**

1. JEC-122「電気鉄道車両用主電動機」(改訂案)
2. JEC-132「電気鉄道車両用補助回転機」(改訂案)

**14. 調査研究委員会****1. 新設した委員会**

- (1) 計測用デジタルトランスデューサ調査専門委員会(52-5)
- (2) 高電圧試験常置専門委員会高電圧絶縁電界計算分科会(52-5)
- (3) マイクロコンピュータ利用

**計測調査専門委員会(52-9)**

- (4) 電化方式調査専門委員会(52-9)
- (5) 社会情報システム調査専門委員会(52-9)
- (6) 超電導材料調査専門委員会(53-3)
- (7) 磁性材料常置専門委員会希土類磁石分科会(53-3)
- (8) 原子力発電所用電線・ケーブル調査専門委員会(53-3)

**2. 解散した委員会**

- (1) 大学院教育調査専門委員会(49-5~52-5)
- (2) MF帯計測調査専門委員会(49-6~52-5)
- (3) 高電圧試験常置専門委員会直流絶縁分科会(49-6~52-5)
- (4) 産業環境システム調査専門委員会(50-6~52-5)
- (5) 測定妨害雑音対策調査専門委員会(50-10~52-9)
- (6) マイクロプロセッサ調査専門委員会(49-11~52-12)
- (7) 絶縁材料放射線試験調査専門委員会(50-4~53-3)
- (8) 人工雑音対策調査専門委員会(50-4~52-3)
- (9) 電気鉄道における自動検測調査専門委員会(50-9~53-3)

**3. 調査を終了した項目****【教育研究】****(物性理論教育調査専門委員会)**

1. 物性教育に関する現況調査

**【電気測定】****(トレーサビリティ常置専門委員会)**

1. 計測管理のチェック方式(技報予定)

**(MF帯計測調査専門委員会)**

1. MF帯電気計測の実状および問題点(技報予定)

**【電気材料】****(金属材料常置専門委員会)**

1. 電気機器用金属材料の現状と問題点(技報予定)

**(磁性材料常置専門委員会)**

1. けい素鋼板の使用上の諸問題(技報予定)

**(絶縁材料放射線試験調査専門委員会)**

1. 絶縁材料放射線試験法(技報予定)

**【電子回路】****(電子回路部品常置専門委員会)**

1. IC化時代における回路部品の動向(技報予定)

**(集積回路常置専門委員会)**

1. 集積回路用CADの最近の動向(技報予定)

**【電子装置】****(半導体デバイス常置専門委員会)**

1. 最近の半導体プロセス技術(技報予定)
2. 最近のIII-V族化合物関連技術(技報予定)

**【電気通信】****(人工雑音対策調査専門委員会)**

1. 人工雑音等の対策を実施するにあたって必要な基礎及び応用的問題点(技報予定)

**【電気機器】****(同期機常置専門委員会)**

1. 同期機の界磁電流算定法(技報予定)

**(誘導機常置専門委員会)**

1. 特性算定法(技報予定)

**(変圧器常置専門委員会)**

1. 変圧器の三次(安定)巻線(技報I部122号)

**(整流器常置専門委員会)**

1. 電力変換技術による無効電力の補償(技報予定)

**(しゃ断器常置専門委員会)**

1. しゃ断器の適用法(技報予定)

**(制御機器常置専門委員会)**

1. 電磁継電器の品質仕様(技報予定)

**【電気鉄道】****(電気鉄道における自動検測調査専門委員会)**

1. 自動検測の調査・分析・検討 (技報予定)

【電力応用】

(建築電気設備常置専門委員会)

1. 建築設備の電算機による中央管制システムの調査研究 (技報予定)

【電力】

(送電常置専門委員会)

1. 架空送電線のギャロッピング (技報予定)

(配電常置専門委員会)

1. 配電線における波形歪 (技報予定)

(変電常置専門委員会)

1. 500 kV 変電所の運転・保守 (技報予定)

(通信常置専門委員会)

1. 電力用情報伝送機器の環境仕様 (技報予定)

(直流送電常置専門委員会)

1. 直流送電の技術用語解説 (単行本出版)
2. 直流送電設備と運転実績の調査 (技報予定)

(工場配電常置専門委員会)

1. 電気機器の耐震性と対策に関する実態調査

(高電圧試験常置専門委員会)

1. がいしの直流汚損特性の検討 (技報予定)

【オートメーション】

(マイクロプロセッサ調査専門委員会)

1. マイクロプロセッサの構成と応用技術(単行本出版予定)

4. 調査中の項目

【教育研究】

(材料・デバイス実験教育調査専門委員会)

1. 大学学部における材料・デバイス実験教育

(物性理論教育調査専門委員会)

1. モデルカリキュラムの作成

【電気物理】

(放電常置専門委員会)

1. SF<sub>6</sub> ガス中の支持絶縁物における沿面放電

2. 放電におけるシミュレーション

(電磁界理論常置専門委員会)

1. 電磁界理論の基本的問題 (クライオエレクトロニクス常置専門委員会)

1. 内外の研究, 技術動向の調査とエバリュエーション

【電気測定】

(トレーサビリティ常置専門委員会)

1. 産業計測技術者の訓練
2. トレーサビリティの経済性 (計測用デジタルトランスデューサ調査専門委員会)

1. 計測用デジタルトランスデューサ

(マイクロコンピュータ利用計測調査専門委員会)

1. マイクロコンピュータ利用計測の実態把握
2. マイクロコンピュータ利用計測の概念

【電気材料】

(絶縁材料常置専門委員会)

1. 重要絶縁技術課題の調査

(金属材料常置専門委員会)

1. 変電機器に使用される金属材料
2. 配電機器に使用される金属材料
3. 機器別調査から明らかにされた金属材料の重要問題点の調査

(磁性材料常置専門委員会)

1. 単板磁気試験法

(電子材料常置専門委員会)

1. オプトエレクトロニクス材料
2. エネルギー変換用材料
3. 超 LSI 技術

(絶縁材料耐熱性試験法常置専門委員会)

1. Compatibility, 複合劣化要

因の解明

2. 短時間試験法の検討 (絶縁材料耐電界性常置専門委員会)

1. 水トリー及び直流, インパルスによるトリー
2. 電力機器およびケーブルの絶縁劣化判定法

(磁気記録材料調査専門委員会)

1. 磁気記録媒体材料の問題点
2. 磁気ヘッドコア材料の問題点

(鉄心材料調査専門委員会)

1. 磁気ひずみ測定装置の現状調査
2. 設計的要因による鉄損劣化率のモデル鉄心による検討

(絶縁材料耐トラッキング性試験法特別専門委員会)

1. IEC 耐トラッキング性試験法における試験結果のばらつき

【電子回路】

(電子回路部品常置専門委員会)

1. 実装技術の動向調査
2. 実装技術用語集の作成

(エレクトロメカニカル機能部品常置専門委員会)

1. エレクトロメカニカル機能部品全般にわたる調査研究と用途の開発

(高安定周波数発生回路調査専門委員会)

1. 高安定周波数発生回路の現状

(電子回路機能と技術調査専門委員会)

1. 電子回路機能と技術

【電子装置】

(電子技術常置専門委員会)

1. 最近の撮像管の動向

(真空電子装置常置専門委員会)

1. 画像変換およびエネルギー変換用デバイス

2. 新形電子管

(オプトエレクトロニクス常置専

門委員会)

1. オプトエレクトロニクス分野全般の研究と開発の現状調査

(レーザー常置専門委員会)

1. レーザ周辺技術
2. 諸外国におけるレーザー研究の調査

(メモリ常置専門委員会)

1. メモリ技術の動向調査研究
2. メモリにおける新しい機能の動向調査研究

【電気機器】

(誘導機常置専門委員会)

1. ひずみ波電源印加時の特性

(変圧器常置専門委員会)

1. 変圧器内外規格の調査
2. 油入変圧器試験指針の見直し

(避雷器常置専門委員会)

1. 酸化亜鉛系避雷器の適用に関する諸問題
2. 汚損問題に関する調査・検討
3. UHV 級避雷器の調査

(ヒューズ常置専門委員会)

1. 限流ヒューズの直流動作
2. 高圧カットアウトの現状
3. ヒューズによるコンデンサバンクの保護

(電力用コンデンサ常置専門委員会)

1. 電力用コンデンサの設置状況、稼動状況

(制御機器常置専門委員会)

1. PLC の技術動向
2. 外来雑音による誤動作の防止

(超電導機器常置専門委員会)

1. 最近の超電導マグネット技術

(磁気応用常置専門委員会)

1. アモルファス磁心の応用に関する調査・検討

(有限要素法による電力機器の電磁界解析法調査専門委員会)

1. 電力機器の電磁界解析に有限要素法を適用するうえでの諸問題

【電気鉄道】

(電気車の運転性能調査専門委員会)

1. 電気車の運転性能の評価および駆動系の仕様決定法

(電化方式調査専門委員会)

1. 電化方式に関する実態

【電気化学・電熱】

(化学・電気エネルギー変換常置専門委員会)

1. 電力貯蔵用二次電池
2. 燃料電池

【電力応用】

(製鉄工業常置専門委員会)

1. 圧延設備における電気技術の動向

(建築電気設備常置専門委員会)

1. 漏電しゃ断器の誤動作とその対策
2. 非常用予備電源の計画と件

(交流可変速駆動方式調査専門委員会)

1. 各種交流可変速駆動方式の実情調査、分類
2. 各産業における交流可変速駆動方式の使用実態と問題点

【原子力】

(原子力計測常置専門委員会)

1. ポジションカウンターとその利用技術
2. システム化における技術的課題
3. 高速計測技術

(原子力発電所制御常置専門委員会)

1. 原子力発電所の制御計装システム
2. 運転時における原発の健全性の診断技術

(MHD 発電常置専門委員会)

1. MHD 発電の研究動向

(核融合発電常置専門委員会)

1. 核融合炉研究開発の調査

2. 核融合炉研究開発に関する動向把握

【電力】

(発電常置専門委員会)

1. 水車およびポンプ水車の侵食、壊食、腐食

(送電常置専門委員会)

1. 架空送電線の微風振動
2. 架空送電技術

(配電常置専門委員会)

1. 高圧配電線における絶縁設計と保護方式

(変電常置専門委員会)

1. 変電機器の現地絶縁診断法

(給電常置専門委員会)

1. 系統電圧の安定維持対策

(通信常置専門委員会)

1. 電力用通信における高速符号伝送

(直流送電常置専門委員会)

1. 直流送電の研究動向調査
2. 直流送電の活用

(工場配電常置専門委員会)

1. 工場電気設備建設マニュアル

(高電圧試験常置専門委員会)

1. 高電圧測定技術
2. 交流湿度特性
3. 統計的絶縁設計
4. がいしの霧中汚損試験法
5. 高電圧絶縁電界計算

【オートメーション】

(工場の総括制御調査専門委員会)

1. 総括制御の実状・システム構成
2. 共通的手法・効果

【情報処理】

(社会情報システム調査専門委員会)

1. 情報の収集・分析・表現技術の諸手法の現状と問題点

5. 研究会

(昭和52年4月1日～昭和52年3月31日)

研究会名	開催回数	発表論文数	資料予約数
教育研究技術回路とシステム理論*	1	1	99
	10	136	—

電 気 音 響*	12	68	—
環 境 電 磁 工 学*	10	64	—
放 電	4	65	271
電 磁 界 理 論	5	51	114
プ ラ ズ マ	4	46	124
電 子 計 測	4	27	127
電 子 装 置	13	123	110
レ ー ザ 工 学	1	8	107
回 転 機	3	16	202
静 止 器	2	20	168
開 閉 保 護 装 置	2	10	132
制 御 変 換 装 置	4	24	225
磁 気 応 用	4	43	155
電 力 技 術	3	15	231
光 源・開 連 装 置	5	26	100
視 覚 情 報	2	10	108
電 気 鉄 道	1	4	81
絶 縁 材 料	11	92	340
金 属 材 料	0	0	136
磁 性 材 料	6	60	158
電 子 材 料	2	9	87
電 線	0	0	145
電 気 化 学・電 熱	3	25	106
応 用 電 子 化 学	0	0	27
電 力 応 用	2	8	168
製 鉄 工 業	0	0	67
シ ス テ ム 制 御	5	26	190
原 子 力	1	5	87
情 報 処 理	10	64	206
計	130	1,046	4,071
前 年 度	128	995	3,911

(備考) \*印の研究会は、電子通信学会と共同設置

15. 国際会議

IEC

第42回大会は、1977年6月6日より18日までソ連のモスクワ市で開催された。当会の分担する委員会としては、TC1用語、SC2Aタービン発電機、TC8標準電圧・電流・周波数、TC10絶縁油およびSC10A・B、TC17スイッチギヤおよび17A、SC28A低圧機器の絶縁協調、TC32ヒューズおよびSC32A・C、TC77電気機器間の電気磁気的相互交換性などが開催され、宮川洋(東大、TC1,77)、山村昌(東大、SC2A、SC28A)、増永緑(日石、TC10、SC10A・B)、中西邦雄(横浜国大、TC17、SC17A)、富沢一行(電気用品試、SC28A、SC32C)、広瀬淳雄(電機大、TC32、SC32C)、椎橋宏次(三王産

業、TC32、SC32C)の諸君が代表として出席された。

また、大会以外に開催されたTCおよびSCに、下記の諸君が出席された。

(1) 9月5日~16日、Stockholmで開催されたTC15(絶縁材料)およびSC15A・B・Cに、金指元憲君(明電舎)。

(2) 9月5日~7日、Stockholmで開催されたTC57(電力線搬送およびテレコン設備)に、番匠行雄君(電発)、松井徹君(日立)。

(3) 9月26日~28日、Bernで開催されたTC3(図式シンボル)に、後藤以紀君(明治大)。

(4) 10月18日~21日、Rørosで開催されたTC37(避雷器)に、永井信夫君(三菱電機)。

(5) 11月9日~11日、Madridで開催されたTC11(計測器)およびSC13Bに、楠井昭二君(日電検)。

(6) 11月28日~12月2日、Milanoで開催されたTC41(保護継電器)およびSC41A・Bに、宇野家正君(沖電気)、永田穰君(富士通)。

・CIGRE

第27回大会は、1978年8月30日より9月7日までパリ市で開催されるが、本年度は、この大会に提出するわが国よりの論文を選考し、下記の7編の論文を選出した。

- (Group 12)  
Reliability Improvement of 500 kV Large Capacity Power Transformer. By T. Takagi, T. Ishii, T. Okada, K. Kurita, R. Tamura, H. Murata
- (Group 14)  
Construction of Shin-Shinano Frequency Converting Station. By M. Yasuda, K.

- Mizushima, Y. Kato, A. Seki
- (Group 15)  
Voltage Endurance and Degradation Processes of Insulation System for High Voltage Rotating Machine. By Y. Kako, T. Tsukui, H. Mitusi, F. Natsume
  - (Group 21)  
The Technical Development and Practical Use of Bulk Power Underground Transmission Cable Systems in Japan. By T. Watanabe, H. Tsuda, K. Kojima
  - (Group 23)  
Field Experience and Future Trend of 500 kV Gas Insulated Metalclad Substations. By K. Morii, S. Matsumura, T. Okada, T. Ushio, S. Tominaga, S. Inamura
  - (Group 32)  
Methods of Improving Power System Stability with a Nuclear Power Station. By K. Nagayama, K. Matsunami, D. Wada, H. Kaminosono, K. Ueda
  - (Group 33)  
New Concepts on Overvoltage Protection by Surge Arresters. By Y. Ozaki, M. Takanashi, S. Tsurumi, K. Mitani, M. Kobayashi

また、1977年度中に開催されたStudy Committeeと日本からの出席者は、次表のとおりである。

SC及びWG	名 称	開催期日 開催場所	出 席 者
11	Rotating Machines	9月5~9日 ジュネーブ(スイス)	藤野治之(富士)
12	Transformers	9月4~9日 ブルージュ(ベルギー)	栗田健太郎(日立)、岡田達也(開電)、菅寿郎(三菱)、村田久夫(東芝)、加子森彦(日立)



13	Switching Equipment	9月15、16日 ボズナン(ポーランド)	宮地 巖(名古屋大)
14	DC Links	6月20~24日 ウィニペグ(カナダ)	東田 禎(電送) 今井孝(空谷) 金義(日新) 春原邦夫(東電) 加藤(日立) 尾形文夫(日立)
15	Insulating Materials	9月5~10日 ヘルシンキ(フィンランド)	大石嘉雄(大阪大) 家田正之(名古屋大) 金指元憲(明電)
21	HV Cable	6月14~15日 ノルズン(ノルウェー)	小島啓示(住友)
22	Overhead Lines	10月8~15日 KEMA(オランダ)	外山第三(電送) 岡田達也(巴里) 池谷隆夫(古河)
23	Substation	8月30~9月1日 ワシントン(アメリカ)	森井清二(関電) 岡田達也(関電) 宮地巖(名大) 栗田健太郎(日立) 伊藤憲夫(東芝) 藤倉忠明(東芝)
31	System Planning	9月13、14日 テイネア(イタリー)	
32	System Operation and Control	9月26~30日 ドトルムント(西独)	田村康男(早大) 杉野栄大(中部電) 有働宗之(東芝)
33	Overvoltage and Insulation Coordination	8月 ロンドン(イギリス)	小林三佐夫(明電) 藤田俊一(明電)
34	Protection	9月10~18日 フィラハ(オーストリア)	中島隆雄(電中) 中村(安藤文郎) 東芝(鈴木健治) 三菱(久保隆生) 日立
35	Communication	6月6~10日 トロント(カナダ)	渋谷頼一郎(東電) 坂本政恵(日電)
36	Interference	6月6~10日 トロント(カナダ)	内山光彦(東電) 池谷隆夫(古河)
41	Future of Electric Power Transmission and System	9月25~10月1日 エジンバラ(イギリス)	田川重夫(電送)

16. 通信教育

1. 受講生の概況

当年度内新入受講生は、大学講座 231 名、高校講座 196 名また、修了者および除籍・その他は、大学講座 349 名、高校講座 193 名であって、期末現在数は、大学講座 1,568 名、高校講座 1,402 名で、総数 2,970 名である。(課程別内訳

は、次のとおり。

大 学 講 座					
講 座 名	入 学	修 了	除 籍	そ の 他	受 講 者 数
大 学 講 座 ・ 基 礎	電気理論	144	6	148	844
	電気計測	34	3	44	175
	電気機器	21	3	20	151
	送配電	23	20	14	147
	電気応用	9	4	20	64
大 学 講 座 ・ 専 門	電気法規		1	20	18
	電気理論				6
	電気計測			12	36
	電気機器			5	13
	発電工学			6	18
大 学 講 座 ・ 専 門	電気物性		1	8	17
	材料				
	電気鉄道			7	5
	電気応用			7	74
	電気法規				
大学小計	231	38	311		1,568
高 校 講 座					
講 座 名	入 学	修 了	除 籍	そ の 他	受 講 者 数
電 気 理 論	電気理論	69	19	71	700
	電気計測	7	5	9	124
	電気機器	5	3	6	45
	送配電	4	1	6	42
	電気材料	67	15	16	255
電 気 数 学	自動制御	44	4	38	236
	電気数学				
高校小計	196	47	146		1,402
合 計	427	85	457		2,970

注：除籍は 49 年後期までに入学した受講生を対象とし 52 年 8 月に整理した。

2. 図書の出版

初版 2点(改訂版) 3,000部

重版 47点 110,490部

合計 49点 113,490部

検定教科書 12点(昭和 53 年度  
使用) 26,200部

学習指導書 1点 500部

2.1 初版図書 2点

(1) 電気施設管理と法規解説(四次改訂)

(2) 電子計算機の原理・構造(改訂)

学習指導書 電気工学

II 下

2.2 重版図書

(書 名)	(版)
1. 電気磁気学	(28)~(30)
2. 電気回路論	(19)~(21)
3. 過渡現象論	(65)
4. 基礎電子工学	(2)~(3)
5. 電離気体論	(7)~(9)

- 6. 誘電体現象論 (4)・(5)
- 7. 電気応用計測器 (5)
- 8. 電気計測器 (11)
- 9. 電気測定法 (6)~(8)
- 10. 電気設計概論 (15)~(17)
- 11. 電気機器工学 I (23)
- 12. 電気機器工学 II (20)・(21)
- 13. 直流機(各論 I) (6)
- 14. 水力発電 (8)
- 15. 原子力発電 (5)
- 16. 火力発電 (12)
- 17. 電力発生工学 (2)
- 18. 送電工学 (21)~(23)
- 19. 配電・屋内配線 (10)・(11)
- 20. 電気材料 (43)
- 21. 高電圧工学 (11)
- 22. 電気鉄道 (2)
- 23. 電気熱工学 (9)・(10)
- 24. 照明工学 (27)~(29)
- 25. 電動応用工学 (7)・(8)
- 26. 電子計算機 (9)
- 27. 自動制御論 (8)
- 28. 基礎電磁気学 (20)・(21)
- 29. 交流理論 (24)・(25)
- 30. 回路網理論 (13)~(14)
- 31. 電磁気計測 (25)
- 32. 工業計測 (6)
- 33. 電気機械工学 (16)・(17)
- 34. 電気機器設計 (4)・(6)
- 35. 発電工学 (12)・(13)
- 36. 電気応用 (7)・(8)
- 37. 施設管理・法規 (2)
- 38. 電子回路 (9)
- 39. 電算機原理・構造 (10)・(11)
- 40. 情報処理システム入門 (4)
- 41. 電算機のプログラミング (5)
- 42. 情報処理数学 (3)
- 43. 自動制御概説 (2)
- 44. 電気理論 I (2)
- 45. 電気実験(電子) (8)・(9)
- 46. 電気実験(基・計) (13)・(14)
- 47. 電気実験(機・電) (10)~(12)

合計 11,0490部

2.3 高等学校工業科検定教科書

- 1. 電気工学 I (上)
- 2. " (下)
- 3. 電気工学 II (上)
- 4. " (下)
- 5. 電子工学 I (上)
- 6. " (下)
- 7. 電子工学 II (上)
- 8. " (下)
- 9. 電子計算機
- 10. 電子計算機一般
- 11. 自動制御
- 12. 電気一般

合計 26,200部

3. 通信教育行事

(1) 編修委員会および指導委員会の活動状況

編修委員会では、しばらく中断していた各部門委員会の活動を再開し、原稿執筆、改

訂作業等を促進することとし、数学、電気理論、エネルギー工学、がいし、電力用保護継電器、照明工学改訂、オプトエレクトロニクスの各部門が編修活動を開始した。また、改訂、新刊2点電気施設管理と法規解説(改)、電子計算機の原理と構造(改)の発刊を行った。

指導委員会では文部大臣表彰候補者の選定、受講生の受講状況あるいは職業別、年令別等の調査、企業からの研修目的による受講増加対策等を行った。

## (2) 出版委員会(第二部会)の活動状況

通信教育関係としては、52年度は重版68回88,600部の発行を決定し、定価を全面的に据置き、売上げの増加に努め、一方在庫状況を勘案しつつ出版を行い、極力在庫の増加を抑えた。その結果売上げは114,000部(約1億5,000万円)となり、昨年度の86,000部(1億2,100万円)に対し約30%増加したが在庫は62,000部(4,200万円)となり約6%増であった。

## (3) 文部大臣表彰

第28回文部省認定社会通信教育の文部大臣表彰が行われ当会より9名(大学講座5名、高校講座4名)が受賞した。なお電気学会会長からも表彰を受けた。

## (4) 受講生増加運動の実施

最近の通信教育会の受講生は、従来の資格獲得のための個人受講生が漸減し、企業が再教育の場として集団で受講する機会が多くなり、総受講生3,100名のうち52%を占めている。企業の中には電力

会社、重電機製造会社、電気工事会社のように電気に直接関係あるもののほか最近省力化が進み電力機器または自動制御を取扱う職場で製鉄、自動車、酪農、紡績等多種多様の分野で集団受講が行われている。当会では昨年12月から今年1～2月にかけて受講者増加運動を展開し180社の企業に対しキャンペーンを行った結果現在約170名が新規に受講している。

## 17. その他

本期間に下記の如き推薦を行った。

- (1) 日本学士院会員候補者の推薦
- (2) 文部省科学研究費等補助金の審査委員候補者の推薦
- (3) 日産学術研究助成候補者の推薦
- (4) 東レ科学技術研究助成候補者の推薦
- (5) 鹿島学術振興財団研究助成候補者の推薦
- (6) 山田科学振興財団研究助成候補者の推薦
- (7) 松永記念科学振興財団松永賞候補者の推薦

また、他の関係学術団体と共催または協賛した主なものは次のとおりである。

- (1) エネルギー材料に関する学術講演会
- (2) 第22回静電気研究発表会
- (3) 第15回接着研究発表会
- (4) 第15回理工学における同位元素研究発表会
- (5) 1977年夏季セミナー(主題・分子線エピタキシャル法を中心とする薄膜成長)
- (6) 第5回バイオメカニズムシンポジウム

- (7) 第7回フェライト夏季セミナー
- (8) 第3回新しい制御理論講習会
- (9) 第4回気相成長とエピタキシー国際会議
- (10) 第17回真空技術夏季大学
- (11) 工業教育に関する研究シンポジウム
- (12) 第16回腐食に関する講習会
- (13) IFAC 生産技術シンポジウム
- (14) ミニコンピュータに関する基礎講義会
- (15) 第15回高分子と水に関する討論会
- (16) 第7回国際産業用ロボットシンポジウム
- (17) 第26回自動制御講習会——安全計装における異常対策——
- (18) 初心者のための自動制御基礎講習会
- (19) 第3回リモートセンシングシンポジウム
- (20) 溶接シンポジウム
- (21) 第18回真空に関する連合講演会
- (22) 第1回強誘電体応用会議
- (23) 第5回計測と制御におけるミニコンとマイクロコンピュータ講習会
- (24) 第20回自動制御連合講演会
- (25) 第1回アコースティックエミッション総合コンファレンス
- (26) ビークルオートメーションシンポジウム
- (27) 表面エレクトロニクスにおける微細加工学入門
- (28) 第16回原子力総合シンポジウム
- (29) 第29回自動制御講習会

(30) 腐食防食懇談会

(31) 昭和 53 年電気記念日

## 18. 役員改選報告

会長—宮地 巖, 副会長—広瀬  
 胖, 吉田正一, 総務理事—山崎精  
 二, 会計理事—吉沢重之, 編修理  
 事—原田達哉, 等々力達, 調査理  
 事—永村純一, 監事—家田正之の  
 諸君が 53 年 5 月の通常総会で任  
 期となるので, 改選の結果次の諸  
 君が当選した。

会 長 関 四郎(明電舎)

副 会 長 松田 新市(三菱電機)

同 飯田 孝三(関西電力)

総務理事 加藤 寧(日立)

会計理事 武居 文雄(東芝)

編修理事 上之蘭 博(電力中研)

同 河村 達雄(東大)

調査理事 三井 恒夫(東京電力)

監 事 石崎 彰(明電舎)

投票総数は 7,597 通で, 投票率  
 は 43% であった。

## 支部役員改選結果

支部役員半数の改選結果, 次の  
 諸君が当選した。(○印は本部評  
 議員兼任者, ※は支部長推薦支部  
 評議員)

## (1) 東京支部

支 部 長 梅津 照裕(電力中研)

庶務幹事 坂本 雄吉(電力中研)

会計幹事 幸田 英雄(東電)

評 議 員 安藤 宣雄(日立)

同 ○秋月 影雄(早大)

同 ○磯崎 真(三菱電機)

同 岩沢 弘(明電舎)

同 ○荻本 和男(東芝)

同 菅野 弘道(日立)

同 ○久保 敏(国鉄)

同 ○鈴木 慶三(富士電機)

同 豊田 淳一(成蹊大)

同 増田 惇(東芝)

## (2) 関西支部

支 部 長 高木 俊宜(京大)

庶務幹事 松原 覚衛(京大)

会計幹事 清水 雅之(関西電力)

評 議 員 ○安藤 和昭(京大)

同 太田 義一(関西大)

同 岡本 弘(京都工芸  
 繊維大)

同 荻野 泰正(大阪工大)

同 堤 四郎(大阪市大)

同 ○難波 正行(関西電力)

同 ○迎 久雄(三菱電機)

同 安井 貞三(住友電工)

## (3) 九州支部

支 部 長 松山 公一(熊本大)

庶務幹事 毛利佳年雄(九工大)

会計幹事 宮崎 昌博(九州電力)

評 議 員 ○青木 和男(九大)

同 上野文 男(熊本大)

同 大槻 瓊士(新日鉄)

同 山下隆三郎(三菱電機)

同 ○山田 英二(長崎大)

## (4) 東北支部

支 部 長 津屋 昇(東北大)

庶務幹事 後藤 幸弘(東北大)

会計幹事 佐藤 徳芳(東北大)

同 星 欣一(東北電力)

評 議 員 伊藤 修(東北学院  
 大)

同 大野 康二(東北工大)

同 志田 純一(岩手大)

同 手島 忠孝(東北電工)

同 内藤 正義(福島高専)

同 ○本間 磐(日大)

## (5) 東海支部

支 部 長 加藤 義春(中部電力)

庶務幹事 永谷 照吉(名大)

会計幹事 中島堅志郎(名工大)

評 議 員 梶谷 定之(三菱電機)

同 桑田 一(日本電装)

同 平野 忠男(岐阜大)

同 ○堀井 憲爾(名大)

同 ○増山 安郎(東芝)

同 松山 潔(信州大)

同 三橋 広二(静岡大)

同 ※川井 栄一(大同工大)

同 ※森田健一郎(富士電機)

## (6) 中国支部

支 部 長 今津 信吾(広島大)

庶務幹事 荒木 繁人(中国電力)

会計幹事 松原 英明(中国電気  
 工事)

評 議 員 大谷 邦弘(中国電機  
 製造)

同 ○樹下 行三(広島大)

同 榊 茂忠(広島工大)

同 高須 登(鳥取大)

同 ○松村 義正(中国電力)

同 ※宮崎 伴美(三菱化成)

## (7) 北海道支部

支 部 長 小沢 保知(北大)

庶務幹事 村田 茂昭(北大)

会計幹事 長谷川英機(北大)

評 議 員 ○小野 正夫(北海道電  
 力)

同 岡部 道雄(国鉄)

同 織笠桂太郎(室蘭工大)

同 松山 和雄(旭高専)

同 藤川 良美(札幌市下  
 水道局)

## (8) 北陸支部

支 部 長 四谷 平治(富山大)

庶務幹事 久々湊広一(北陸電力)

会計幹事 吉元 武(石川高専)

評 議 員 ○池尻 忠夫(福井大)

同 池田 勝典(関西電力)

同 加戸 光朗(福井工大)

同 満保 正喜(金沢大)

同 山本 一雄(福井高専)

同 高原 悠児(北陸電力)

## (9) 四国支部

支 部 長 富田 盛夫(四国電力)

庶務幹事 井上 博文(四国電力)

会計幹事 木内 陽介(徳島大)

評 議 員 磯村 滋宏(愛媛大)

同 牛田 明夫(徳島大)

同 岡田 伸視(住友共同  
 電力)

同 川上 勝良(高知高専)

同 ○佐藤郁三郎(四国変圧  
 器)

## 昭和52年度会計報告

(自昭和52年4月1日 至昭和53年3月31日)

## (1) 公益会計・収益会計収支計算書

## 収入の部

(斜体数字は項目の内訳)

科 目	公益会計	収益会計	合 計
会 費 収 入	97,991,137	99,436,012	197,427,149
正 員 会 費	38,300,949	89,368,882	127,669,831
准 員 会 費	0	3,083,785	3,083,785
学 生 員 会 費	0	930,740	930,740
入 会 金	677,800	0	677,800
終 身 会 費 取 引 金	0	506,505	506,505
維 持 員 会 費	59,012,388	5,546,100	64,558,488
雑 誌・論 文 誌 収 入	0	51,922,737	51,922,737
頒 布 収 入	0	27,283,077	27,283,077
広 告 収 入	0	24,639,660	24,639,660
図 書 収 入	0	14,344,748	14,344,748
電 気 工 学 ハ ン ド ブ ッ ク ( 新 刊 ) 収 入	0	89,476,000	89,476,000
名 簿 収 入	5,113,500	0	5,113,500
調 査 収 入	24,069,988	0	24,069,988
合 計	127,174,625	255,179,497	382,354,122
雑 利 子 収 入	2,165,520	952,371	3,117,891
補 助 収 入	10,647,450	0	10,647,450
資 金 利 子 収 入 繰 入 金	1,226,770	0	1,226,770
通 信 教 育 会 繰 入 金	1,500,000	0	1,500,000
特 別 会 計 繰 入 金	3,000,000	0	3,000,000
前 期 名 簿 繰 入 金	4,250,000	0	4,250,000
収 益 計 繰 入 金	1,500,000	0	1,500,000
合 計	10,000,000	0	10,000,000
総 合 計	161,464,365	256,131,868	417,596,233

## 支出の部

科 目	公益会計	収益会計	合 計
事 務 所 費	4,850,534	9,848,053	14,698,587
事 務 費	6,025,447	12,233,484	18,258,931
人 件 費	37,291,669	53,753,146	91,044,815
諸 会 費	249,160	0	249,160
支 部 費	12,950,000	0	12,950,000
賞 金 費	2,817,210	0	2,817,210
名 簿 出 版 費	7,524,964	0	7,524,964
電 気 規 格 調 査 会 費	10,377,527	0	10,377,527
調 査 研 究 委 員 会 費	13,627,839	0	13,627,839
研 究 会 費	21,955,641	0	21,955,641
研 連 合 調 査 費	404,000	0	404,000
調 査 雑 費	979,513	0	979,513
雑 誌・論 文 誌 出 版 費	0	93,446,835	93,446,835
図 書 出 版 費	0	10,771,791	10,771,791
電 気 工 学 ハ ン ド ブ ッ ク ( 新 刊 ) 出 版 費	0	48,968,500	48,968,500
合 計	119,053,504	229,021,809	348,075,313
公 益 会 計 繰 入 金	0	10,000,000	10,000,000
総 合 計	119,053,504	239,021,809	358,075,313
収 支 差 額	42,410,861	17,110,059	59,520,920

(注)：収益会計の収入総合計および支出総合計は、(2)収益会計損益計算書に移す。公益会計収支差額は(3)利益金処分に移す。

## (2) 収益会計損益計算書

(自昭和52年4月1日 至昭和53年3月31日)

科 目	支 出 金 額	科 目	収 入 金 額
支 出 総 合 計	239,021,809	収 入 総 合 計	256,131,868
期首商品棚卸高	12,889,949	期末商品棚卸高	11,570,692
退職給与引当金繰入	3,000,000	貸倒引当金戻し入	370,000
貸倒引当金繰入	300,000	価格変動準備金戻し入	650,000
価格変動準備金繰入	1,400,000		
法人税等充当金	5,000,000		
当期利益金	7,110,802		
合 計	268,722,560	合 計	268,722,560

## (3) 公益会計利益金処分

当期利益金	42,410,861
利益金処分	
特別積立金	42,410,861

## (4) 収益会計利益金処分

前期繰越損失金	△ 5,612,199
当期利益金	7,110,802
合 計	1,498,603
利益金処分	
次期繰越利益金	1,498,603

## (5) 別 途 調 査 費

種 別	繰 越 金	当期受入	当期支出	収 支 残 (次年度繰越)
電食防止研究(委)	395,631	1,408,950	1,949,091	△144,510
誘導調査特別(委)	1,588,963	779,400	1,924,803	443,560
日本CIGRE国内(委)	3,973,507	10,350,000	11,044,567	3,278,940
電気加熱技術協会	△ 21,626	2,951,950	2,867,658	62,666
調査特別(委)	1,482,435	4,333,140	4,885,807	929,768
合 計	7,418,910	19,823,440	22,671,926	4,570,424

## (6) 資 金 利 子

種 別	繰 越 金	当期利子	当期支出	収 支 残 (次年度繰越)
(1) 賞金資金	1,189,112	916,524	850,000	1,255,636
(2) 日立資金	147,121	16,800	0	163,921
(3) 日本発送電資金	1,806,348	416,000	500,000	1,722,348
(4) 東北配電資金	80,203	100,000	80,000	100,203
(5) 九州配電資金	100,591	69,000	70,000	99,591
(6) 桜井資金	1,459,862	1,052,000	986,860	1,525,002
合 計	4,783,237	2,570,324	2,486,860	4,866,701

(使途)：(1)～(5)賞金及び賞牌作成費 (6)電力関係国際会議出席費補助

## (7) 貸借対照表

(昭和53年3月31日現在)

資 産 の 部				負 債 及 び 資 本 の 部			
科 目	公 益	収 益	計	科 目	公 益	収 益	計
流 動 資 産	207,033,321	89,331,456	296,364,777	流 動 負 債	33,039,117	117,297,161	150,336,278
現 金	270,649	0	270,649	未 払 金	597,960	33,279,288	33,877,248
銀 行 預 金	74,605,811	0	74,605,811	前 受 金	17,621,922	73,224,141	90,846,063
振 替 預 金	1,294,957	0	1,294,957	仮 受 金	971,465	5,692,172	6,663,637
信 託 預 金	71,560,000	0	71,560,000	預 り 金	1,564,295	0	1,564,295
売 掛 金	0	10,286,177	10,286,177	別 途 調 査 費 勘 定	4,570,424	0	4,570,424
未 収 入 金	3,908,228	8,690,524	12,598,752	大 会 勘 定	1,517,670	0	1,517,670
商 品	0	11,570,692	11,570,692	東 京 支 部 勘 定	1,328,680	0	1,328,680
仕 掛 品	0	50,642,069	50,642,069	資 金 利 子 勘 定	4,866,701	0	4,866,701
有 価 証 券	53,409,415	0	53,409,415	法 人 税 等 充 当 金	0	5,101,560	5,101,560
仮 払 金	1,984,261	8,141,994	10,126,255	引 当 金	16,959,000	16,700,000	33,659,000
固 定 資 産	13,734,003	0	13,734,003	退 職 給 与 引 当 金	0	15,000,000	15,000,000
備 品	2,157,300	0	2,157,300	職 員 退 職 引 当 金	16,959,000	0	16,959,000
敷	11,576,703	0	11,576,703	貸 倒 引 当 金	0	300,000	300,000
				価 格 変 動 準 備 金	0	1,400,000	1,400,000
				基 金	48,273,011	2,854,152	51,127,163
				基 本 財 産	180,150	0	180,150
				収 益 勘 定 元 入 金	0	2,854,152	2,854,152
				賞 金 資 金	11,560,000	0	11,560,000
				寄 付 金	17,212,165	0	17,212,165
				固 定 資 産 特 別 資 金	10,840,274	0	10,840,274
				図 書 購 入 特 別 資 金	8,480,422	0	8,480,422
				剩 余 金	73,477,736	1,498,603	74,976,339
				特 別 積 立 金	31,066,875	0	31,066,875
				繰 越 損 失 金	0	△5,612,199	△5,612,199
				当 期 利 益 金	42,410,861	7,110,802	49,521,663
公 益 勘 定	0	49,018,460	49,018,460	収 益 勘 定	49,018,460	0	49,018,460
合 計	220,767,324	138,349,916	359,117,240	合 計	220,767,324	138,349,916	359,117,240



## 貸借対照表

(昭和53年3月31日現在)

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
現金	20,988	未預返納貸借別退還前当	24,106,597
金預金	2,423,879	払り受引動与積立利益	761,570
金品料金備金券権品	134,727	税金格職途給期	7,808,844
金品料金備金券権品	2,090,981	立当準備当	2,980,520
金品料金備金券権品	185,740	積立利益	1,342,000
金品料金備金券権品	2,000,000	積立利益	1,058,000
金品料金備金券権品	74,605,049	積立利益	12,274,840
金品料金備金券権品	42,274,766	積立利益	6,000,000
金品料金備金券権品	1,832,418	積立利益	45,500,000
金品料金備金券権品	209,640	積立利益	20,276,238
金品料金備金券権品	545,400	積立利益	2,000,000
金品料金備金券権品	4,430,000	積立利益	3,928,174
金品料金備金券権品	4,702,900	積立利益	7,872,898
金品料金備金券権品	109,000		
金品料金備金券権品	344,193		
合計	135,909,681	合計	135,909,681

## 昭和53年度予算(案)

## 収入の部

科目	公益会計	収益会計	合計
会費収入	85,530,000	111,690,000	197,220,000
正員会費	25,200,000	100,800,000	126,000,000
准員会費	0	3,460,000	3,460,000
学生員会費	0	1,380,000	1,380,000
入会金	970,000	0	970,000
終身会費取らずし金	0	450,000	450,000
維持員会費	59,360,000	5,600,000	64,960,000
雑誌・論文誌収入	0	52,870,000	52,870,000
頒布収入	0	26,270,000	26,270,000
広告収入	0	26,600,000	26,600,000
図書収入	0	25,210,000	25,210,000
電気工学ハンドブック(新刊)収入	0	154,400,000	154,400,000
調査収入	27,960,000	0	27,960,000
合計	113,490,000	344,170,000	457,660,000
雑収入	1,260,000	740,000	2,000,000
利子収入	8,000,000	0	8,000,000
補助金	1,200,000	0	1,200,000
資金利子収入繰入金	1,500,000	0	1,500,000
通信教育会繰入金	3,000,000	0	3,000,000
特別会計繰入金	4,250,000	0	4,250,000
総合計	132,700,000	344,910,000	477,610,000



## 支 出 の 部

科 目	公 益 会 計	収 益 会 計	合 計
事 務 所 費	3,900,000	11,680,000	15,580,000
事 務 費	8,820,000	26,460,000	35,280,000
人 件 費	36,210,000	75,420,000	111,630,000
諸 会 費	280,000	0	280,000
支 部 費	12,950,000	0	12,950,000
大 会 費	500,000	0	500,000
賞 金 費	2,800,000	0	2,800,000
名 簿 出 版 費 (準 備 費)	4,000,000	0	4,000,000
電 気 規 格 調 査 会 費	10,500,000	0	10,500,000
調 査 研 究 委 員 会 費	15,800,000	0	15,800,000
研 究 会 費	21,500,000	0	21,500,000
連 合 調 査 費	430,000	0	430,000
調 査 雑 費	200,000	0	200,000
雑 誌 ・ 論 文 誌 出 版 費	0	95,500,000	95,500,000
図 書 出 版 費	0	22,220,000	22,220,000
電 気 工 学 ハ ン ド ブ ッ ク (新 刊) 出 版 費	0	96,000,000	96,000,000
予 備 費	14,810,000	17,630,000	32,440,000
総 合 計	132,700,000	344,910,000	477,610,000

## 通 信 教 育 会 収 支 予 算

科 目	収 入	科 目	支 出
講 座 収 入	4,560,000	事 務 所 費	8,640,000
大 学 講 座	2,640,000	借 室 料	3,240,000
工 高 講 座	1,920,000	光 熱 費	1,200,000
図 書 頒 布 収 入	171,740,000	倉 敷 料	3,000,000
大 学 図 書	151,140,000	在 庫 管 理 費	1,200,000
工 高 図 書	20,600,000	事 務 費	5,000,000
雑 収 入	1,000,000	人 件 費	54,990,000
		業 務 費	7,820,000
		図 書 出 版 費	85,050,000
		材 料 費	22,650,000
		印 刷 費	34,530,000
		原 稿 料	26,670,000
		編 修 費	1,200,000
		予 備 費	15,800,000
合 計	177,300,000	合 計	177,300,000